

使徒言行録 19 章 11 節～20 節。神は、パウロの手を通して目覚ましい奇跡を行われた。彼が身に着けていた手ぬぐいや前掛けを持って行って病人に当てると、病気はいやされ、悪霊どもも出て行くほどであった。ところが、各地を巡り歩くユダヤ人の祈祷師たちの中にも、悪霊どもに取りつかれている人々に向かい、試みに、主イエスの名を唱えて、「パウロが宣べ伝えているイエスによって、お前たちに命じる」と言う者があった。ユダヤ人の祭司長スケワという者の七人の息子たちがこんなことをしていた。悪霊は彼らに言い返した。「イエスのことは知っている。パウロのこともよく知っている。だが、いったいお前たちは何者だ。」そして、悪霊に取りつかれている男が、この祈祷師たちに飛びかかって押さえつけ、ひどい目に遭わせたので、彼らは裸にされ、傷つけられて、その家から逃げ出した。このことがエフェソに住むユダヤ人やギリシア人すべてに知れ渡ったので、人々は皆恐れを抱き、主イエスの名は大いにあがめられるようになった。信仰に入った大勢の人が来て、自分たちの悪行をはっきり告白した。また、魔術を行っていた多くの者も、その書物を持って来て、皆の前で焼き捨てた。その値段を見積もってみると、銀貨五万枚にもなった。このようにして、主の言葉はますます勢いよく広まり、力を増していった。

マルコ福音書 5 章には、12 年間も出血の止まらない女性が、後ろからそと、主イエスの服に触れて癒された奇跡が記されている。使徒言行録 5 章 15 節、16 節には「人々は病人を大通りに運び出し、担架や床に寝かせた。ペトロが通りかかるとき、せめてその影だけでも病人のだれかにかかるようにした。また、エルサレム付近の町からも、群衆が病人や汚れた霊に悩まされている人々を連れて集まって来たが、一人残らずいやしてもらった」と記している。パウロもまた、彼が身に着けていた手ぬぐいや前掛けを病人に当てると、病気は癒され、悪霊が出ていく奇跡を行ったと記している。神の力に与り、パウロの働きは目覚ましかつたと伝えている。

パウロの力ある働きを見聞きした宗教家たちは、パウロを羨み、真似をしたいと思ったことは当然であろう。各地を巡り歩くユダヤ人の祈祷師たちの中に、悪霊に取りつかれた人々に向かい、試みに、主イエスの名を唱え、「パウロが宣べ伝えているイエスによって、お前たちに命じる」と言う者たちが現れた。ユダヤ人の祭司長スケワという者の 7 人の息子たちも、同じように、主イエスの名によって悪霊を追い出す祈祷をした。ところが、悪霊は彼らに「イエスのことは知っている。パウロのこともよく知っている。だが、いったいお前たちは何者だ」と言い返した。そして、悪霊に取りつかれた男が祈祷師たちに飛びかかって押さえつけ、ひどい目に遭わせたので、彼らは裸にされ、いたく傷つけられた。彼らはその家から逃げ出した。この出来事がエフェソに住むユダヤ人やギリシア人すべてに知れ渡ったので、人々は恐れ、パウロが語る主イエスの名は大いに崇められるようになった。大勢の人々が来て、自分の悪行（魔術）をはっきり告白し、主イエスの福音を信じる信仰に入った。また、魔術を行っていた多くの者たちもその書物を持って来て、皆の前で焼き捨てた。書物の値段は銀貨 5 万枚（年収の約 137 倍）にもなった。膨大な書物が焼き捨てられた訳である。キリスト教は神の全支配を信じるので、魔術や占いを否定する。

エフェソでのパウロの町を揺るがすような勢いの宣教により、主イエスの言葉は広がり、教会の力は確実に増していった。